

神奈川県立金沢養護学校



学校だより

第138号 平成30年9月26日

校長 桐山 直人

9月4日(火)午後、金沢養護学校で「企業と語ろう in かなざわ」と題する、障害者の進路・就労について学ぶ会を開催しました。

「不安を安心に」をテーマに、障害のある方が学校卒業後の社会参加に向けて身につけたい力や課題について、知的障害者を多く雇用する「特例子会社」の運営者を囲み、参加者10名ほどの小さなグループに分け、懇談会形式で行いました。参加者の質問に対し障害者雇用の現場経験を踏まえた回答・説明がありました。あるグループの特例子会社の社長様が、「実習に特別支援学校の生徒が来るが、作業中に固まってしまう(=動きが止まってしまう)人がいる。」と語り、「それは失敗することが怖い生徒で、失敗の経験を沢山して育ってほしい。会社は、失敗の中で教える内容が分かるのです。失敗しても大丈夫、ということを読んでください。」との言葉がありました。失敗は貴重な体験、学びであることに気づきました。

保護者の方の感想に「障害のある子たちに、こんなに真摯に向き合っている人たちがいることが分かり嬉しくなった。」との言葉がありました。

特例子会社：障害者雇用率の算定において、親会社の一事業所と見なされる子会社

障害者雇用率：対象は45.5人以上の事業所。民間は2.2%。国・地方公共団体は2.5%

